

## (一社)日本TBG協会臨時総会議事録

1. 日 時 平成 30 年 3 月 16 日 (金) 13 : 00 ~ 15 : 00
2. 場 所 東京都港区高輪 日立金属和彊館 2 階大会議室
3. 出席者
  - (1) 役 員 木村清衣衛・赤川一郎副会長、山北 徹理事長、  
岡崎一夫・鈴木康夫・川崎文夫・山岸銀七・笹野 隆・大和田明德・  
平山文男・伊藤英彦・池上良雄各理事 (12 名)  
長谷川元章監事 (1 名)
  - 【欠席】 楠見昭二会長、  
濱野健一・増崎迪克・釜 令子・加藤浩久・相馬鋁一各理事 (6 名)  
鈴木 登監事 (1 名)
  - (2) 正会員 茨城県(平山文男)、東京都(田中晴夫)、富山県 (山岸銀七)、  
滋賀県(奥島與志次)、 (4 都県)  
【委任状出席】 山口県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、  
宮崎県、鹿児島県 (10 県)  
【欠 席】 青森県、鳥取県、島根県、広島県 (4 県)  
【休会中】 岡山県、徳島県、愛媛県、沖縄県 (4 県)
4. 挨拶 (木村副会長)

本日午前の理事会では、活発に審議頂いたことを感謝しています。

この総会では事業計画・収支予算・役員人事など重要案件がありますので、前向きな審議をお願いしたい。

### 5. 事務局報告 (大和田事務局長)

「本総会現在の正会員数は休会中の 4 県を含めて 22 都県。本日の出席数は委任状による出席 10 県を含めて 14 都県、従って本総会は成立しております。」

「先ず、本総会提出資料の確認を行います。」(詳細略)

「議長は、定款第 20 条により会長となっておりますが、楠見会長欠席のため定款第 27 条第 2 項により木村副会長にお願いします。」

「次に書記に伊藤秀彦氏、議事録署名人に定款第 23 条第 1 項により木村議長と田中晴夫氏及び奥島與志次氏を推薦します。」：以上全員異議なく承認。

### 6. 議事概要

#### 6.1 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画について

① 【資料】「平成 30 年度事業計画(案)」により、山北理事長から説明。

② 主な意見

- ・事業計画に関連して、日本協会主催大会の主管協会は 3 年～5 年先まで決めておいた方が準備しやすい。6 月の総会で提案して頂きたい。(岡崎)
- ・今年の全日本大会が四国の予定から東京都に変更になったのは昨年秋の終わり、翌年の事業計画をほぼ固めた段階だったので、新たに取り組むことに困惑した。(田中)
- ・2～3 年先まで決めておきたいのは同意見なので、6 月の総会に提案する。(山北)

③ 結論 全員異議なく承認。

#### 6.2 第2号議案 平成30年度収支予算について

① 【資料】「平成30年度収支予算(案)」により、大和田事務局長から説明。

② 主な意見

- ・平成29年度の決算が黒字になりそうだが、全国から新開発ボールを購入してもらったことも効いているのではないかと。感謝の気持ちを表せないかと。(岡崎)
- ・東京都から新ボールに投入したお金は大きい。それも理解して頂きたい。(伊藤)

③ 結論 全員異議なく承認。

#### 6.3 第3号議案 第3期(平成30~31年度)役員人事について

① 【資料】「第3期役員推薦委員会議事録」により、岡崎委員長から説明。

② 主な意見

- ・この役員の任期は6月4日の定期総会からなので、理事の職務分担(会長・副会長・理事長)は、6月4日の平成30年度第1回理事会にて決議することになるが、役員人事の発表は理事会議事録・TBGニュースで公表可と考える。(岡崎)

③ 結論 全員異議なく承認。

#### 6.4 第4号議案 平成30年度活動方針について

① 山北理事長から所信表明。

- ・会員規模別会費制については、引き続き会員の理解を深めて頂く努力を続けていく必要がある、と考えている。財政基盤の確立は急務であり、運営資金を増やす計画を考えたいので、30周年記念事業も絡めて提案したい。(山北)

② 主な意見

- ・30周年記念事業は年度収支が赤字を脱却しようとしている当協会にとって、大事な役割を果たすことになる。求心力を高めるため、当協会をここまで支え・牽引してきた功労者を顕彰し、併せて30周年の喜びを広く寿ぐ記念品を考えると良いのではないかと。派手なパフォーマンスではなく身の丈に合った着実な事業が肝要と思う。(岡崎)

③ 結論 全員異議なく承認。

#### 6.5 その他

① 全日本大会:「第16回全日本TBG選手権大会」について、東京都伊藤理事から説明。

② 東日本大会:資料「第4回東日本大会in滋賀開催要領」により、滋賀県奥島理事長から説明。

③ 主催団体と主管団体の役割分担の文書化について

- ・これまで日本協会主催大会に際し、主催団体と主管団体の役割分担については、口頭による依頼と前回大会の担当団体からの引継ぎが中心で運営されてきた。担当団体の特色も出せるということであるが、予てより標準化してほしいという声もあり、この役割分担の文書化を進めたいと考えている。まずは今年の東京都・滋賀県への依頼から始めてみる。(山北)
- ・昨年の東京都の場合、当初から早めに依頼文がほしいという声が出た。役割分担を明記した依頼文を受けてから準備に入るのが筋ではないかと、という意見もある。(田中)
- ・昨年の鹿児島全日本大会は、前年の滋賀県から引き継ぎを受けて実施したので、これまで通りでも構わない、と思う。(池上)

・昨年の茨城東日本大会は、日本協会と相談しながら進めたが、これで良かった、と思っている。(平山)

④ 会員規模別会費制について

・会員規模別会費制については、一人当たり目安の単価を徐々に上げていくという話があったが、平成30年についてはどう考えているか。(池上)

・これから相談したいと考えているが、日本協会財政の基礎は会費制であり、目安の単価を300円から400円にしたいという考え方はある。(山北)

・平成30年度予算は審議決定したばかりであり、今年度は動かすべきではない。(岡崎)

・九州と東京は事情が異なっており、鹿児島では公認指導者資格を取る人がいないので、基本は個人の会費ではないかと思う。(池上)

・東京でもいろいろな意見の人がいるが、大事なことは会員を増やすことで、そのノウハウを交流するなど会員を増やす施策をどうするか、ということではないか。(田中)

【閉会 15時】

書 記 伊 藤 英 彦

議 長 木 村 清 衣 衛

議事録署名人 田 中 晴 夫

議事録署名人 奥 島 與 志 次